

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2021年1月）

目 次

新型コロナウイルス

◆1月31日現在の感染情報等	2
◆スロバキアにおける英国型変異株の確認	2
◆ワクチン優先接種フェーズの変更	2
◆ワクチンの購入及び契約等に関する記者会見	3
◆全国抗原検査（1月18～26日）の最終結果	3
◆1月27日以降の外出禁止令強化	3

内 政

◆政党支持率調査結果	5
◆国防戦略文書及び安全保障戦略文書の国会承認	5

外 政

◆ナヴァリヌィ氏の拘束に関するスロバキア要人のコメント	6
◆バイデン米大統領の就任に関するスロバキア要人のコメント	6
◆コルチョク外務・欧州問題相のEU外務理事会出席	7

経 済

◆2020年の自動車生産台数の速報	8
◆2020年12月の失業率	8

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆1月31日現在の感染情報等

- (1) 1月のPCR検査に基づく新規感染者数は6万5849名（昨年12月は7万7325名）、1月の死者数は2461名（昨年12月は1382名）
- (2) 1月31日時点のPCR検査に基づく累積感染者数は25万357名（前日比+444名）。31日の検査数は2290件。同日までの累積検査数は176万6743件）
- (3) 1月31日時点の累積死者数4711名（前日比+69名）
- (4) 1月31日時点の累積治癒者数21万8923名（前日比+2871名）
- (5) 1月31日時点の累積ワクチン接種数は13万4205名（前日比+113名）

◆スロバキアにおける英国型変異株の確認

1月4日、クライチー保健相は自身のFacebookアカウントにて、スロバキアで初めて新型コロナウイルスの英国型変異株（B.1.1.7）が確認された旨を発表した。クライチー保健相によると、これまでにブラチスラバ、ニトラ、トレンチーン、バンスカー・ビストリツァ、ミハロウツェ郡等で英国型変異株が確認されている（1月31日現在）。

◆ワクチン優先接種フェーズの変更（1月20日付TASR通信）

1月20日、保健省は、ワクチン優先接種フェーズの変更について公表した。これまで4段階に分かれていた優先接種のフェーズが、11段階に変更された。

第1フェーズ：医療従事者（研修中に患者と接する医学部生も含む）、社会福祉施設職員等

第2フェーズ：85歳以上の者

第3フェーズ：75歳以上の者

第4フェーズ：65歳以上の者

第5フェーズ：重度の病人

第6フェーズ：中度の病人

第7フェーズ：55歳以上の教員

第8フェーズ：55歳以上の者

第9フェーズ：教員

第10フェーズ：45歳以上の者

第11フェーズ：18歳以上の者

(当館注：1月31日現在、第3フェーズ(75歳以上の者)の優先接種が行われている。スロバキア政府は、外国人のワクチン接種については未定としている。)

◆ワクチンの購入及び契約等に関する記者会見(1月20日)

1月20日、マトヴィチ首相及びクライチー保健相は、ワクチンの購入及び契約に関する記者会見を開いたところ、概要以下のとおり。

(1) 1月18日、スロバキアは、ファイザー社/ビオンテック社のワクチン240万7086個と、モデルナ社のワクチン96万2917万個を購入した。購入された両社のワクチンは、2021年第1四半期から第3四半期にかけて順次供給される予定。

(2) 1月18日、スロバキアは、ファイザー社/ビオンテック社のワクチン347万5875個と、モデルナ社のワクチン60万1823個を新たに契約した。新規契約されたファイザー社/ビオンテック社のワクチンは2021年第2四半期から第4四半期にかけて、新規契約されたモデルナ社のワクチンは同年第4四半期に、順次供給される予定。

◆全国抗原検査(1月18~26日)の最終結果

1月18~26日に全国で実施された抗原検査に、297万4323名が参加し、3万6978名の陽性が確認された。検査数に対する陽性率は1.24%であった。地域別の陽性率は、下記内務省のプレスリリース(1月29日付)で確認できる。

<https://www.minv.sk/?tlacove-spravy&sprava=bratislava-a-nitra-su-napokon-medzi-horsimi-okresmi-povinne-testovat-ale-nebudu-musiet>

◆1月27日以降の外出禁止令強化(1月17日付及び2月1日付政府布告)

(1) 1月27日から2月2日まで、通勤等のために、1月18日以降に発行されたPCR検査若しくは抗原検査の陰性証明書、又は3か月以内に発行された新型コロナウイルス感染症の治癒証明書が必要となる。

(2) 2月3日から7日まで、1月18日~26日に実施された抗原検査で検査数に対する陽性率が高かった以下の郡においては、通勤等のために、1月27日以降に発行されたPCR検査若しくは抗原検査の陰性証明書、又は3か月以内に発行された新型コロナウイルス感染症の治癒証明書が必要となる。

ブラチスラバ県：ペジノク郡、マラツキ郡、セネツ郡

トルナバ県：トルナバ郡、セニツァ郡、ドゥナイスカー・ストレダ郡、ガラン

タ郡、フロホヴェツ郡

ニトラ県：コマーノ郡、シャリヤ郡、ノヴェー・ザームキ郡、レヴィツェ郡、ズラテー・モラウツェ郡、トポルチャニ郡

トレンチーン県：ノヴェー・メスト・ナド・ヴァーホム郡、バーノウツェ・ナド・ベブラヴォウ郡、パルチザーンスケ郡、プリエヴィザ郡

ジリナ県：ビッチャ郡

バンスカー・ビストリツァ県：ジアル・ナド・フロノム郡、ジャルノヴィツァ郡、クルピナ郡、ズヴォレン郡、ジェットヴァ郡、ポルタール郡、ブレスノ郡、レヴーツァ郡

プレショウ県：フメンネー郡、メジラボルツェ郡、スニナ郡

コシツェ県：コシツェ市、コシツェ・オコリエ郡、ロジュニャヴァ郡、トレビショウ郡

(3) 2月3日から7日まで、1月18日～26日に実施された抗原検査で検査数に対する陽性率が低かった以下の郡においては、通勤等のために、再度陰性証明書等を取得する必要はない。

ブラチスラバ県：ブラチスラバ市

トルナバ県：スカリツァ郡、ピエシュチャニ郡

トレンチーン県：トレンチーン郡、ミヤヴァ郡、イラヴァ郡、プーハウ郡、ポヴァシュスカー・ビストリツァ郡

ニトラ県：ニトラ郡

ジリナ県：ジリナ郡、キスツケー・ノヴェー・メスト郡、チャツツァ郡、トゥルチアンスケ・チェプリツェ郡、マルティン郡、ドルニー・クビーン郡、ナーメストヴォ郡、トヴルドシーン郡、ルジヨムベロク郡、リプトウスキー・ミクラシュ郡

バンスカー・ビストリツァ県：バンスカー・ビストリツァ郡、バンスカー・シュチアウニツァ郡、ヴェルキー・クルティーシュ郡、ルチェネツ郡、リマウスカー・ソボタ郡

プレショウ県：プレショウ郡、ポプラト郡、ケジュマロク郡、スタラー・リュボウニャ郡、レヴォチャ郡、サビノウ郡、バルジェヨウ郡、スヴィドニーク郡、ストロプコウ郡、ヴラノウ・ナト・トプリョウ郡

コシツェ県：スピシュスカー・ノヴァー・ヴェス郡、ゲルニツァ郡、ミハロウツェ郡、ソブランツェ郡

(当館注：ブラチスラバ市及びニトラ郡は、本来であれば陽性率が高い郡に分類されるが、政府によって発表された1月18～26日の全国抗原検査の最終結果のデータが当初誤っていたことを受けて、陽性率が低い郡に分類された。

なお、ブラチスラバ市及びコシツェ市は複数の郡から構成されているが、本措置ではそれぞれ一つの郡として数えられている。）

内 政

◆政党支持率調査結果（1月25日）

世論調査機関Focusによる政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。連立与党4党（OLaNO、Sme rodina、SaS、Za ludi）の支持率の合計は32.7%で、野党Hlas-SD及びSmer-SDの支持率の合計（33.4%）を下回っている。

政党	Focus	2020年選挙
Hlas-SD（声-社会民主主義）	24.3%(47)	—
SaS（自由と連帯）	13.3%(26)	6.22%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	10.1%(20)	25.02%
LSNS（我々のスロバキア）	9.7%(19)	7.97%
Smer-SD（方向-社会民主主義）	9.1%(18)	18.29%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	5.2%(10)	※6.96%
Sme rodina（我々は家族）	5.1%(10)	8.24%
KDH（キリスト教民主運動）	4.4% (-)	4.65%
Za ludi（人々のために）	4.2% (-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

◆国防戦略文書及び安全保障戦略文書の国会承認

【国防戦略文書の国会承認（1月27日付TASR通信及び経済新聞電子版）】

1月27日、国会は、国防戦略文書を承認した。国防戦略文書が国会承認されるのは16年ぶり（2005年以来）のことである。同文書は、スロバキアの主権及び領土保全の維持を主な目的としており、NATOの枠組みによる集団防衛が最も効果的な国防手段である旨明記されている。同文書の概要は以下のとおり。

- （1）NATO及びEUとの結束を強化する。NATO及びEUへの軍事的貢献は、スロバキアの安全保障に裨益する。
- （2）国防に対するリスク分析に基づき、国防体制の質を強化する。
- （3）スロバキアの国防産業を支援する。国防産業における生産、供給、サービスの提供能力、研究開発を強化するための国際協力を支援する。

【安全保障戦略文書の国会承認（1月28日付TASR通信）】

1月28日、国会は、安全保障戦略文書を承認した。安全保障戦略文書が国会承認されるのは16年ぶり（2005年以来）のことである。同文書は、国際安全保障の機能が様々な要因により低下しており、スロバキアの安全とレジリエンスに直接的な影響を与えている旨指摘している。同文書の概要は以下のとおり。

（1）パンデミックは、いくつかの国の脆弱性を浮き彫りにし、多国間主義の弱体、地政学上の新たな争い、国益の一方的主張、欧州周辺地域の不安定化を加速させている。

（2）サイバー脅威、テロ攻撃、不法移民、偽情報、過激主義への対策を強化する必要がある。

（3）米国はNATOにおける戦略的同盟国。ロシアは国際的な課題を解決するための重要なパートナーであり、関係を発展させる必要があるが、ロシアの軍事、安全保障、政治の分野での挑発的なアプローチは、欧州及び北大西洋における大きな挑戦となっている。中国は、国際的な問題を解決するための重要なパートナーであるが、同時に、経済及び技術面でのライバルでもある。

（4）国際法、人権、基本的自由に違反している第三国、個人及び法人の行動を改めさせることを目的としたEUによる制裁の導入を支持する。

外 政

◆ナヴァリヌイ氏の拘束に関するスロバキア要人のコメント

1月17日、チャプトヴァー大統領及びコルチョク外務・欧州問題相はツイッターにて、ナヴァリヌイ氏のモスクワでの拘束に関し、以下のとおりコメントを発表した。

【チャプトヴァー大統領のツイート（1月17日付）】

ナヴァリヌイ氏の拘束は、自由を信じるロシアの人々を打ち砕くことはないだろう。政治的な敵対者であっても、公正で開かれた議論の中で討議されるべきであり、異なる意見のために投獄されてはならない。

【コルチョク外務・欧州問題相のツイート（1月17日付）】

ナヴァリヌイ氏の母国帰国直後の拘束について重大な懸念をもって注視している。ナヴァリヌイ氏の居場所は、自由で安全な政治闘争の中であるべきであり、同氏は拘束されるべきではない。

◆バイデン米大統領の就任に関するスロバキア要人のコメント

【大統領府プレスリリース（1月20日付）】

チャプトヴァー大統領は、1月20日のバイデン米大統領就任を祝福する書

簡を発売し、「バイデン大統領及びハリス副大統領の就任は、二国間関係の強化につながると確信している。米国が気候変動に関するパリ協定に復帰予定であることを歓迎する。米国とEUが協力すれば、野心的なグローバル環境基準を設定できるだろう。バイデン大統領の中欧に対する長年の関心にも感謝している。バイデン大統領は以前より、中欧諸国の北大西洋同盟への統合を支持していた」と述べた。

【首相府プレスリリース（1月20日付）】

1月20日、マトヴィチ首相はツイッターにて、以下のコメントを発売した。

「現在と将来の課題を乗り越え、強固な北大西洋関係を構築することを楽しみにしている。スロバキアは、世界の民主主義を規定している価値を共有するパートナー及び同盟国となる用意がある。」

【外務・欧州問題省プレスリリース（1月20日付）】

本日のバイデン第46代米国大統領就任に当たり、スロバキア外務・欧州問題省は、米国次期政権との協力及びスロバキアと米国との相互関係深化の継続への準備と関心を確認する。

米国は、スロバキアの戦略的パートナーであり同盟国である。スロバキアは、EU・米国間対話の復活及び強化、共通の安全保障の構築において重要な要素である定期的な対話の実現、広範な欧州・北大西洋地域における繁栄と民主主義の創造にも積極的に貢献するつもりである。

スロバキアは、世界で最も開放的な経済を有する国の1つとして、EU・米国間における可能な限り早期の貿易交渉の復活を支持する。これらの交渉は、相互利益、経済成長及び様々な基準の改善を促進することを目的とするべきである。

◆コルチョク外務・欧州問題相のEU外務理事会出席（1月25日付外務・欧州問題省プレスリリース）

1月25日、コルチョク外務・欧州問題相は、EU外務理事会に出席した。同会合では、ロシアの反体制派ナヴァリヌイ氏の逮捕に起因するデモ活動後のロシア情勢、英国及び米国新政権との将来の協力について、主に議論された。

コルチョク外相は、民主的な国では、自由な政治的競争において反対意見を表明する場所が必要であり、反対意見は監獄に封じ込められてはならない旨述べ、ロシア自身が国際条約に合意することで自ら約束した公正な裁判を受ける権利を含め、ナヴァリヌイ氏の諸権利は尊重されなければならないと付言した。

2020年12月に、EU・英国間の貿易及び協力に関する合意への署名が

行われ、長期に亘る交渉が終了したが、同合意は外交安全保障政策の分野をカバーしておらず、外交関係における協力の合意が必要である。

各外相は、可能な限り早期に米国政府との対話を確立する方法について議論した。コルチョク外相は、米国政府とは、イラン核合意に由来する約束の違反を含む多くの分野での協力や、EUが中国との関係を決定する際の協力を望む旨強調した。

各外相は、テレビ電話を通じて、日本の茂木敏充外務大臣とも会合を行い、アジアの安全保障上の課題を含むインド太平洋地域での日本との協力の可能性について議論した。日本は、我々の最も重要な外交政策上のパートナーの一つであり、同じ価値を共有していることから、我々は、グローバルな課題の解決における我々の共通利益及び協力を促進するよう努める。EUはインド太平洋に関する戦略を準備している。同戦略の目的は、EUにとって重要になりつつあるインド太平洋地域におけるEUの関与を増大することである。

経 済

◆ 2020年の自動車生産台数の速報（1月18日付フォーブス誌電子版）

スロバキア自動車産業協会（ZAP）によると、2020年のスロバキアの自動車生産台数は、パンデミックの影響により約98万5000台に留まり、前年比で11%減少した（2019年の生産台数は約110万台）。マトウシエクZAP会長は、「2020年秋の時点では、同年の生産台数が前年比で20%減少すると予測していた」と述べ、生産台数の減少率が予測を下回ったことを評価した。スロバキアの全輸出品目に占める自動車及び同部品の割合は約50%を占めている。

2020年のスロバキアの新車登録台数は8万4909台に留まり、前年比で25%減少した。

◆ 2020年12月の失業率（1月20日付スメ紙電子版）

労働局によると、2020年12月の失業率（登録ベース）は7.57%であり、前月比で0.19%、前年同期比で2.65%それぞれ上昇した。全体の求職者数に基づく同年12月の失業率は8.3%であった。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

